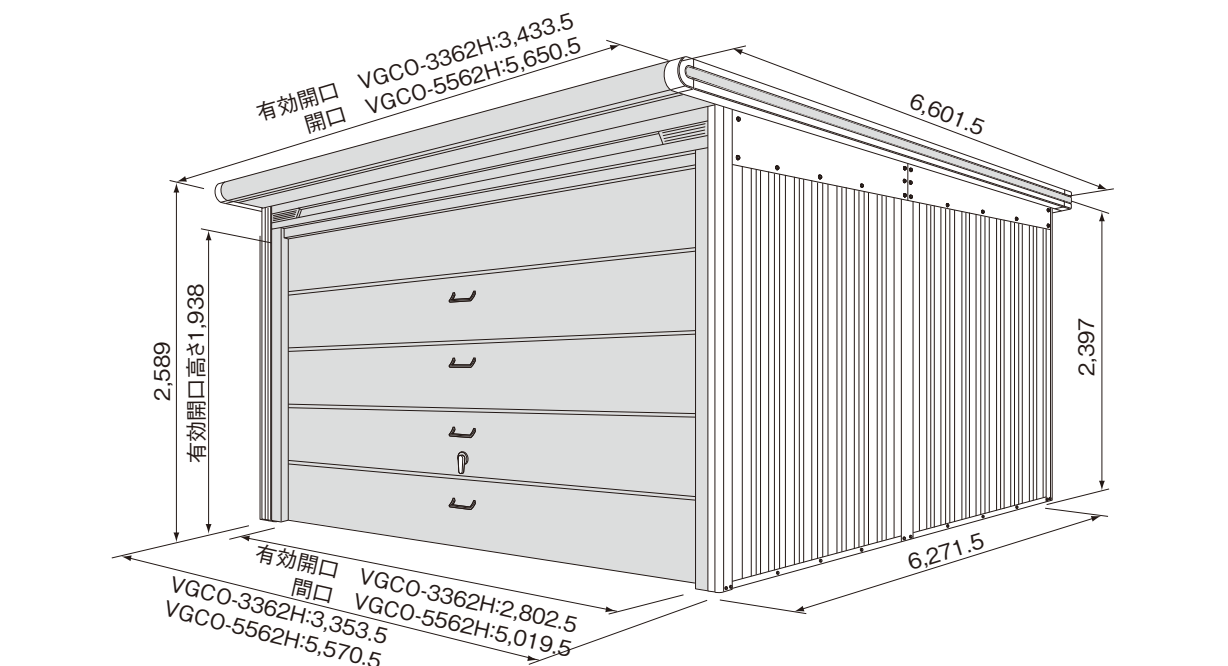


この組立説明書は、ガレージを安全に組立てていただくために、重要な事項を記載しています。
施工前に必ずお読みください。

また、部品箱の中の手取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

本書は、8862Hタイプで向かって左側を一台用(3362H)、右側を2台用(5562H)連棟させる形で記載しておりますが、単棟タイプ、3連棟以上も手順は同様です。



1. 基礎の水平が出ていないと建付けが悪くなりますので、必ず水平を確認してください。
2. 部品の共通化のために、実際には使用しない穴があいている部品がありますので、説明書に従って組立てください。
3. 開口部オーバーライダーは別途工事ですので、梱包は開梱せずに、雨のかからない場所に保管しておいてください。
4. オプションのリモコンの配線、台中の中央から後に600m/mの位置までアース孔付20センチ(100V)を配線しておいてください。

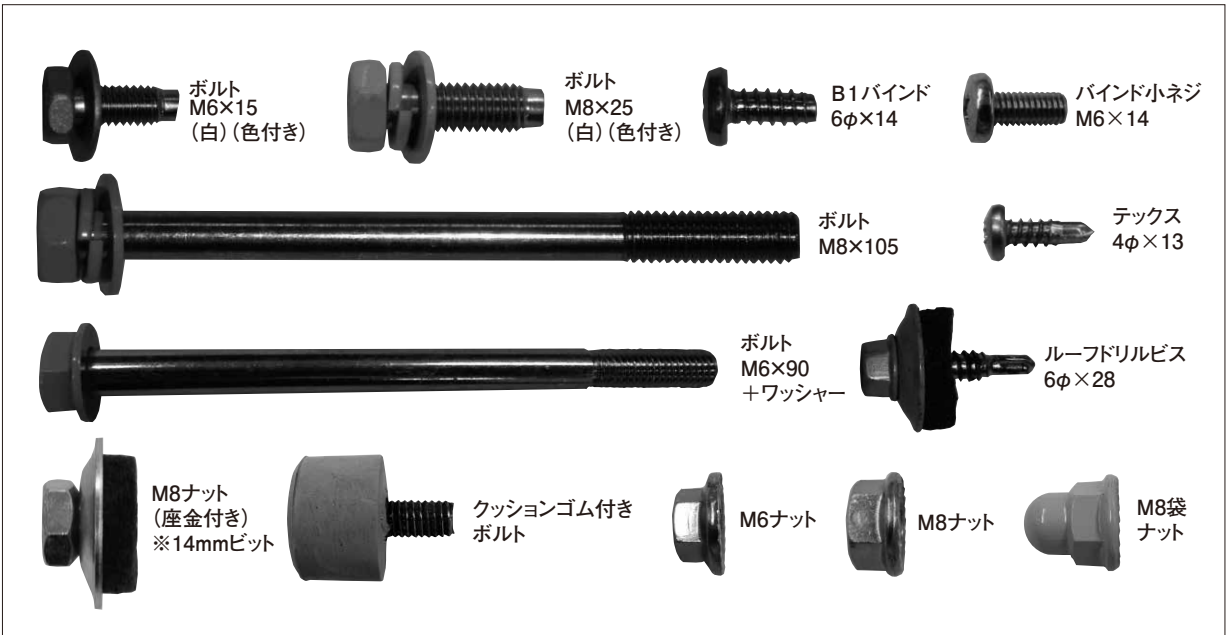
● オーバースライダー開閉の際には、パネルのかみ合わせ部に手を掛けて開閉しますと、手をはさむおそれがありますので注意して開閉するよう説明してください。

- 大屋根からの雨水や、雪が直接コードグレーズの屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 崖のふち、風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

△ 注意 施工の際には、次の点を必ず守ってください。

- ブロックでの基礎は絶対にやめください。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
- 施工前必ず布基礎の水平を確認してください。水平がでないとい、ガレージの建付けが悪くなります。
- 風暴時や雨天時の組立てはやめください。
- 高所での組立てとなりますので、足場板、安全帯などを使用して、作業時の安全には、十分注意してください。
- 重量物・長尺物は運搬・据付の際に複数人数で行い、振り回したり、落としたりしないよう、注意してください。
- 安全のため、手袋をして組立てを行ってください。
- ボルトは口に入れないでください。

- ## ●使用ビース一覧



梱包名	梱包番号	3362H	5562H
部品	VG4-0104	1	
	VG4-0105		1
柱	VG4-0202	1	1
	VG4-0222	1	1
袖柱	VG4-0233		1
	VG4-0281	1	1
間柱	VG4-0312	1	1
	VG4-0342	1	
上枠	VG4-0332		2
	VG4-0404	1	1
梁	VG4-0408	1	1
	VG4-5434		1
前後材	VG4-0534	1	
	VG4-0535		1
左右材	VG4-0536		1
	VG4-0604	1	1
桁前	VG4-0614	1	1
	VG4-0744	1	
桁前補強	VG4-0745		1
	VG4-0754	1	
桁前カバー	VG4-0755		1
	VG4-0764	1	
桁中	VG4-0765		1
	VG4-0774	1	
桁中補強	VG4-0775		1
	VG3-0784	1	
桁後	VG3-0785		1
	VG4-5712		1
ブレース	VG4-5713		1
	VG4-5714	1	
壁	VG1-0814		1
	VG1-0824		1
屋根	VG1-0834	1	
	LM5-1013	1	2
引き戸	LM5-1014	4	4
	LM5-1031	1	1
壁	LM5-1032	1	1
	VG4-1003	6	10
引き戸	VG4-1012	6	10
	LM5-1771	1	1
壁	LM5-1772	1	1

梱包名	梱包番号	3362H	5562H
部品	VG4-0106	1	
	VG4-0107		1
柱	VG4-0233		1
	VG4-0252+200	1	1
袖柱	VG4-0281		1
間柱	VG4-0342	1	
	VG4-0332		2
梁	VG4-0414	1	1
	VG4-5434		1
前後材	VG4-0536		1
	VG4-0544	1	
桁前	VG4-0545		1
	VG4-0744	1	
桁前補強	VG4-0745		1
	VG4-0754	1	
桁前カバー	VG4-0755		1
	VG4-0764	1	
桁中	VG4-0765		1
	VG4-0774	1	
桁中補強	VG4-0775		1
	VG3-0784	1	
桁後	VG3-0785		1
	VG4-5712		1
壁	VG4-5713		1
	VG4-5714	1	
ブレース	VG1-0814		1
	VG1-0824		1
壁	VG1-0834	1	
	LM5-1013		1
屋根	LM5-1014	1	1
	LM5-1031	1	1
屋根	LM5-1032		
	VG4-1003	6	10
	VG4-1012	6	10

※VGC0-8862Hは、5562Hと3362Hを連棟した組み合わせになります。

The technical drawings show the 3362 and 5562 types of equipment. The front view of the 3362 type shows a width of 3368.5 and a height of 2918. The side view shows a depth of 210. The 5562 type has a width of 5585.5 and a height of 2918. The side view shows a depth of 210. The connection detail shows the equipment connected to a wall with dimensions 65, 120, 130, 2783, 3138.5, and 3130.

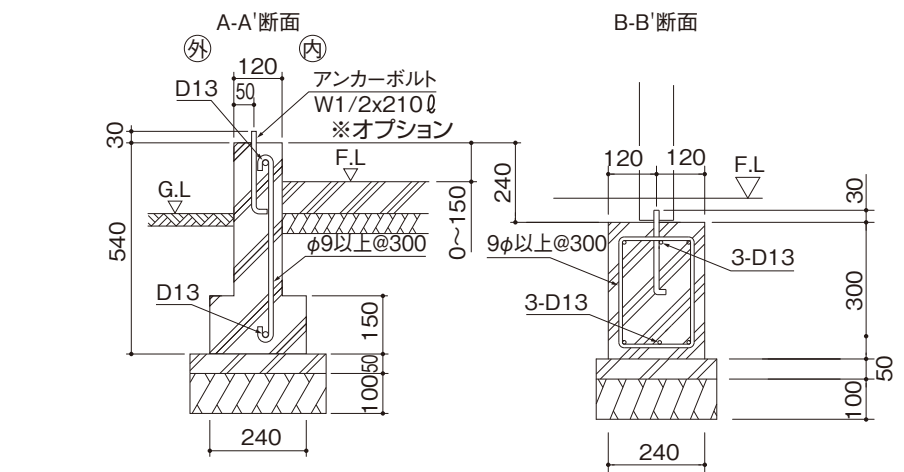
※VGC0-8862Hの基礎は、3362と5562の連棟タイプになります。

地耐力 50kN/m²以上、コンクリート強度 18N/mm²以上、基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ

注1) 地耐力が50kN/m²未満(30kN/m²以上)の場合、底盤幅を300mmとし、かつ槽筋筋を入れてください。

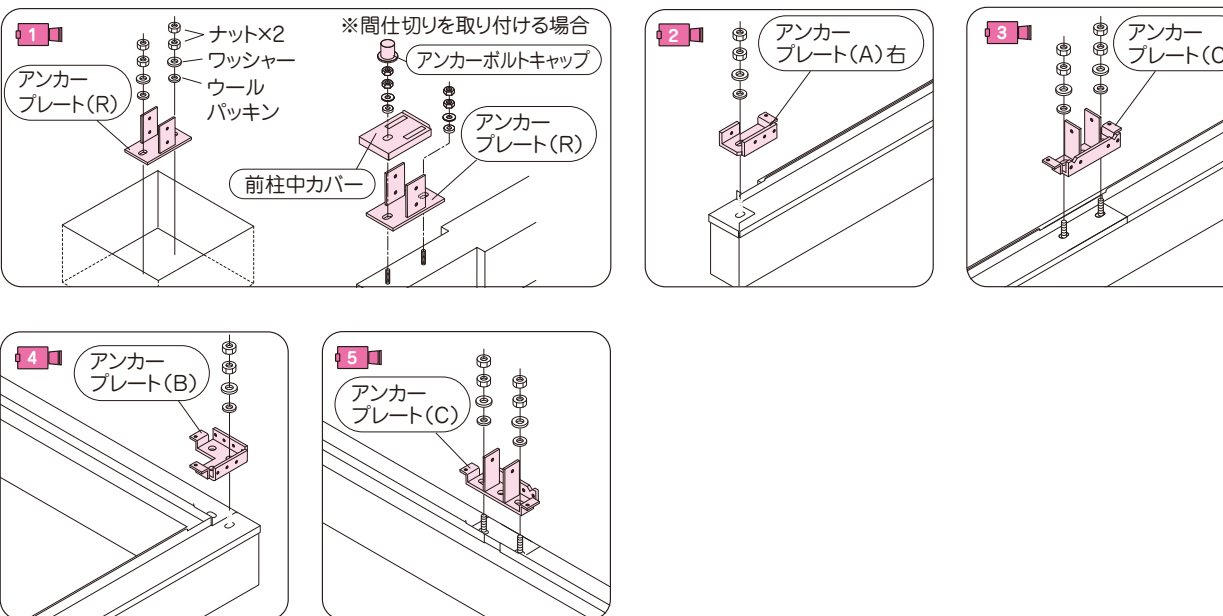
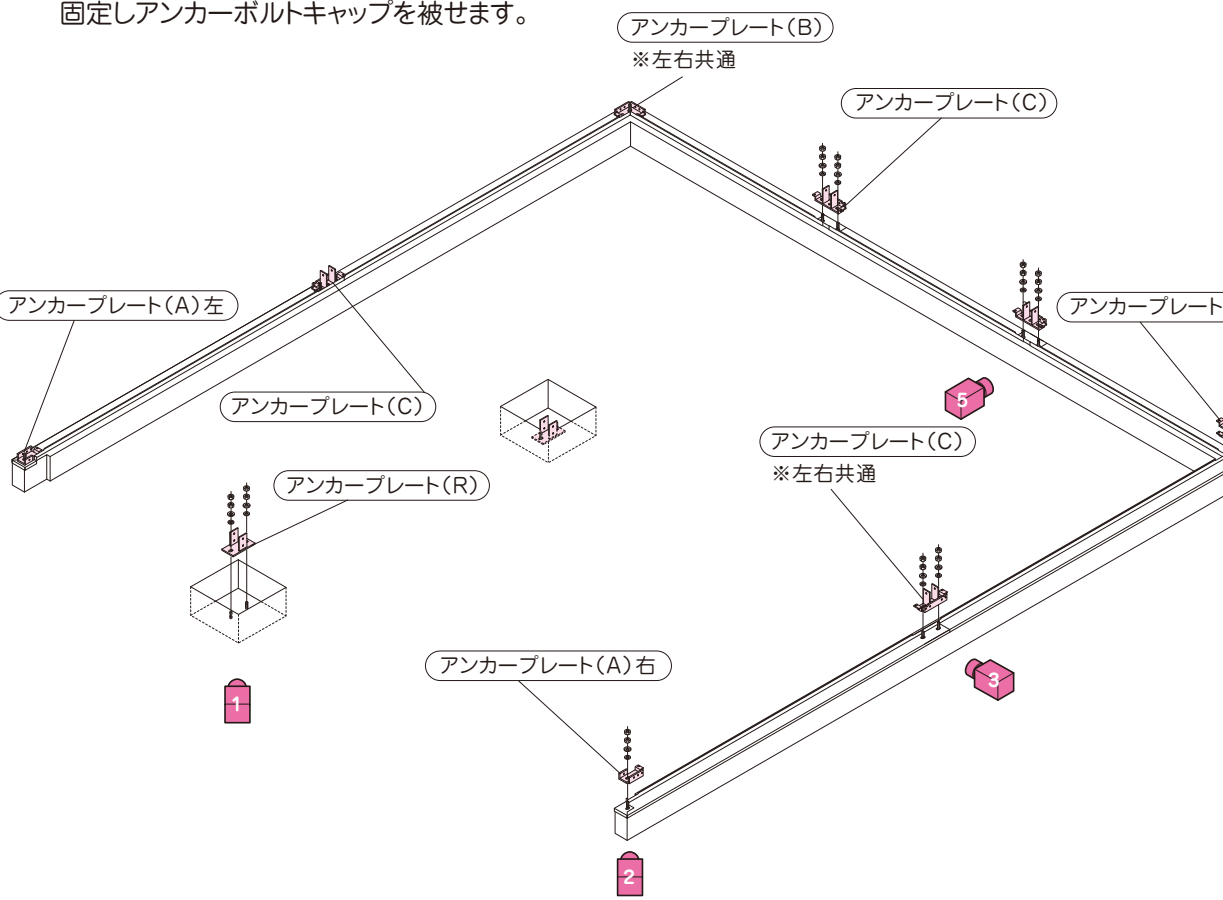
注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計してください。

注3) 強風地、寒冷地などに設置する場合は、現地の実情にあわせて設計してください。



① **（アンカープレート）**をアンカーボルトに仮止めします。
※本締めは下枠設置後に行います。

② オプション間仕切りを取り付ける場合は**（前柱中カバー）**を**（アンカープレート(R)）**に設置して固定しアンカーボルトキャップを被せます。



VGCO-5562H

下枠30 下枠26 (左)

下枠30 下枠30

下枠33 (左) 下枠33 (右)

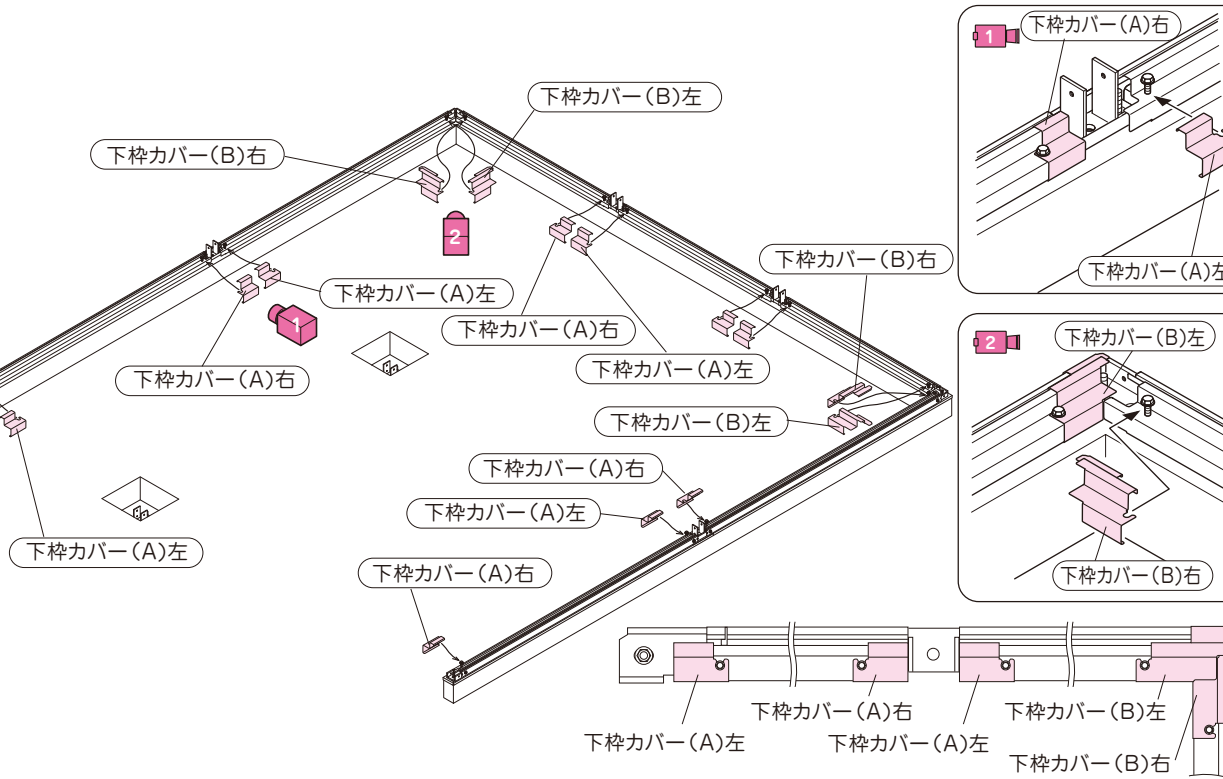
VGCO-3362H

下枠33 (左)

下枠30 下枠30

下枠33 (左) 下枠33 (右)

- ① **下枠カパー**を下枠に取り付けます。
- ② 仮止めたボルトを締め付けて固定します。



①ドリルで中柱(左右)に10φの孔加工します。(連棟の場合、中柱(中)も同様に孔加工してください。)

※シャッタータイプと連棟する場合、シャッタータイプ側の孔加工は不要ですのでご注意ください。

